

くじゅう連山 大船山(1787m)・平治岳(1643m)山行報告書

記録 N.U(2018.6.5記)

- ◇日程 平成30年6月2日(土)～3日(日)
- ◇山行形態 1泊2日のテント泊及び山小屋泊
- ◇交通機関 レンタカー(トヨタグランドキャビン)
- ◇費用 8,500円～10,700円、食費、温泉代
- ◇参加者 M.K(L)、T.F(SL、D)、Y.Y(会計)、T.Y(D)、T.T、N.I、N.U(記録)
- ◇アプローチ

<行き>6月2日(土) 防府市役所 7:50 集合

防府市役所(8:00)－防府西 IC(8:10)－壇ノ浦 PA(9:00～9:14)－上毛 PA(10:26～10:32)

－由布岳スマート IC(11:12)－由布院Aコープ(11:27～12:15)－やまなみ－吉部駐車場(12:50)

<帰り>6月3日(日)

吉部駐車場(13:45)－やまなみ－束の間岬 14:35～15:20－由布岳スマート IC(15:40)－

上毛 PA(16:18～16:30)－吉志 PA(17:10～17:30)－防府西 IC(18:35)－防府市役所(18:50)

◇コース 6月2日(土)

吉部駐車場(13:25)…暮雨の滝入口(14:15～14:30)…大船林道分岐(15:00)

…坊がつる(15:15)…法華院温泉山荘(15:25)

6月3日(日)

法華院温泉山荘(5:30)…坊がつる(5:40～6:00)…分岐(6:05)…段原(7:15～7:25)

…大船山(7:50～8:00)…段原(8:20～8:25)…北大船山(8:30)…大戸越(9:24～9:35)

…平治岳(10:08～10:20)…大戸越(10:40～10:50)…分岐(11:38)…坊がつる

(11:45～12:00)…暮雨の滝入口(12:40～12:50)…吉部登山口(13:28)

◇個人装備

ザック、雨具、タオル、ハンカチ、防寒着、帽子、手袋、ストック、ヘッドライト、
コンパス、地図、保険証、ゴミ袋昼食用、カメラ、スマホ、飲み物、朝食・昼食・行動食他

◇共同装備

テント一式(分担)、ガス、コンロ、コッヘル、食料(夕食・朝食)、救急箱(N.U)

◇山行記録

6月2日(土) 晴れ

防府市役所に午前8時前に集合、トヨタレンタカーに乗り8時出発。山陽道から東九州自動車道をひた走り、午後1時前に吉部駐車場に到着。吉部駐車場…暮雨の滝…大船林道分岐…坊がつる近くになると、山頂がピンクに染まった山並が左手に見えてきた。法華院温泉山荘では、N.I氏は同山荘に宿泊、T.T氏とY.Y氏はソロテント。M.K氏、T.F氏、T.T氏、筆者は共同テント泊。テント設営後、早速温泉山荘の白濁した名湯に浸かり、自販機で冷えた缶ビールを買い、テント内で乾杯。夕食はアルファ米に、Y.Yシェフ特製の豚汁他が美味かった。残念ながら満点の星空は見えなかったが、明日のミヤマキリシマの大群落に期待しながら眠りについた。

6月3日(日) 晴れ

午前4時起床、アルファ米+味噌汁他の朝食を済ませ、テントをたたみ、朝の美味しいコーヒーを飲み、5時半テン場を出発。凜とした空気が清々しく、10分ほどで坊がつるテン場。必要のない荷物をデポする方、しない方あり。小休憩後歩いて直の分岐は右に。ここからの登りが意外と長く感じた。薄暗い雑木林の中、途中数回休憩をし、開けてくると段原。素晴らしい景色が待っていた。小休憩後、ベニドウダンツツジの咲く緩やかな上りを進むと大船山(たいせんや

ま:1787m)。眼下に坊がつる、その奥に三俣山(1744m)、左にくじゅう連山の名峰が連なる。大展望を満喫し登ってきた道を下る途中、正面に見える米窪から平治岳にかけてピンクの帯が綺麗だ。段原で小休憩して狭い登山道を歩くと直に北大船山(1706m)。暫く米窪の縁を歩き、狭くて滑りやすい道を、互いに譲り合いながら下っていくと、大戸越は広い窪地状で大勢の登山者で溢れていた。ここから仰ぎ見る平治岳へと続く斜面、ミヤマキリシマの群落が素晴らしい。急な斜面を登りきり平治岳到着かと思いきや、ここが山頂ではないらしい。少し歩くと、突然目の前にミヤマキリシマの大群落が広がっていた！(筆者は初めてだったので) 圧巻すぎて声も出なかった、いやいや声が出た、何だ！こりゃ〜。平治岳(ひいじだけ:1643m)で写真を撮りまくり、思い残すことなく大戸越に下り、T.F氏、N.I氏と共に下山、分岐…坊がつる…暮雨の滝入口…吉部登山口に午後1時半無事到着した。

◇歩行記録

2日目のみ



◇最後に

くじゅう山開きと重なった3日(日)は、想定どおり大勢の登山者で溢れんばかりだった。狭い登山道では、互いに待ってもらったり、待たせたり、なかなか時間どおりには歩けなかったが、その分、早めに法華院温泉山荘を出発する計画の為、渋滞も最小限に抑えることが出来たものと思われる。ピークは少し過ぎていたものの、ピンクに染まった大船山や、特に平治岳の咲き誇るミヤマキリシマの大群落には、心が震えるほど感動した。また、平治岳の手前ピーク斜面には、枯れて白くなっているミヤマキリシマが多く見られ、珍しい白ミヤマキリシマも1株見られた。さらに、くじゅう連山はどこも滑りやすい黒土、しかも、足元にも頭上にも枝葉がつき出ている、最新の注意を必要とする。一度も見えていない方は、ぜひ訪れていただきたい。出来れば、満開の時にもう一度登ってみたいと思う。雨男も経年のせいか力が弱くなり、2日間素晴らしい天候に恵まれた事も特筆すべき。暮雨の滝は必見の価値あり。天候にも恵まれ記憶に残る山行となったが、3日(日)立ち寄った温泉「束の間」(旧:庄屋の館)で若干のトラブルがあり、受付の対応が良くなかった事が残念だった。

◇参考

駐車場は、吉部登山口駐車場利用、料金1500円(1泊)、愛想のいい女性の管理員さん常駐、帰りにはコーヒーをサービスしてくれた。但し奥に300円の駐車場あり。法華院温泉山荘は090-4980-2810、白く濁った名湯あり、入浴料500円/1人、テニ場使用料は300円/1人1日。